

議会だより

 八丈町

No.190

2019.5.25 発行

News Letter From Hachijo Town Assembly

議会だよりは八丈町のホームページでもご覧いただけます

<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/gikaidayori.html>

環境保護の第一歩 ルールに従った分別を



八丈町クリーンセンターを見学

毎年5月30日（ごみゼロの日）～6月5日（環境の日）は「ごみ減量・リサイクル推進週間」。そこで今回は八丈町クリーンセンターへ伺いました。

収集車で運ばれたごみは「ごみピット」（写真A）に投入後、クレーンで攪拌され、投入ホッパーを経由して炉に運ばれ焼却処理されます。50cm以上のごみは途中で絡まると事故に繋がりがねないため、この段階でなるべく取り除かれます。うかがっている短時間の間にも、毛糸や緩衝材ビニールが見つかりました。

不十分な分別も多く、「もやせるごみ」にも関わらず、様々な金属類が入られています。携帯コンロ本体などの大きいものや、わざわざ紙で包んで出している大人として恥ずべきケースもあるとか。焼却された灰は最後に細心の注意をもって手作業でふるいにかけられ、金属ごみの燃えかす等（写真B）を完全に除去し、トン袋に詰められて水海山最終処分場へと運ばれます。

暑い日も寒い日も、屋外で作業をされている方には本当に頭が下がります。しかも作業の多くが手作業です。家庭からごみを出したら終わりではありません。コスト面からも、分別をはじめとしたごみ出しのルールを徹底的に守ることなどを、体験的に周知する事がもっと必要でしょう。ごみからは、つくづくそこに暮らす人々の心が見えてくると感じました。

取材者 岩崎由美

CONTENTS

新議長に奥山幸子氏

- 2P 第1回定例会 初日に議長選挙
- 3P 一般会計当初予算 75億円
- 4P 一般質問（3月定例会）
- 11P 質疑より

第1回定例会

平成31年3月1、18、19、28日

新議長に奥山幸子氏

就任のあいさつ

八丈町議会議長 奥山幸子

この度、議長に就任いたしました。はじめに、前議長に対して感謝の気持ちを伝えたいと思います。奥山博文議員が議員辞職されたことは残念でした。大所高所になって、町行政に対して様々な提言をしてこられただけに、博文議員を失うことは私たち議員にとっても町にとっても大きな損失です。だからこそ、議会の活性化が急務です。

前議長の仕事を継承すると同時に、新しい議員が加わったこともあり、新たな試みにチャレンジしたいと思っています。具体的には議員定数の削減や議会運営の改善などを進めていきます。より住民にわかりやすく、住民に寄り添った議会を目指します。そのために、議員どうしの勉強会をもちたいと思います。定期的に開いて町の課題について議論するほか、担当課長や係長に加わっていただくことや、住民との懇談会も必要となるかもしれません。

こうした取り組みを実現するためには、一人ではできません。議員と住民の皆様の協力をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。



初日に議長選挙

八丈町議会定例会が3月1日に開会。会議の冒頭、奥山博文議長の辞職(2月28日付けで受理)にともなう議長選挙が行われ、単記無記名による投票の結果、奥山幸子氏7票、浅沼憲春氏5票、白票1票で、奥山幸子氏が新議長に選任されました。

議長選挙に続いて、経済企業委員会、議会運営委員会の人選も行われました。

◎経済企業委員会

委員長 菊池 良
副委員長 山下 巧
委員 岩崎 由美

◎議会運営委員会

委員 菊池 良
(正副委員長及び委員の任期
平成31年3月1日～令和2年10月24日)

一般会計当初予算75億円 可決

第1回定例会は議長選挙で新議長を選んだ後、町長の施政方針を受け、平成30年度最後の補正予算審議と新年度の予算審議が主な内容でした。

一般会計約74億円、特別会計（介護保険・後期高齢者医療・国民健康保険・浄化槽設置管理事業）約26億円、公営企業会計（水道・バス・病院）約28億円で、全体で前年度比5億8千万円の伸びです。

主な新規事業は漁業経営支援、長寿命化計画調査、公衆トイレの新設、発泡スチロールリサイクル再開等です。また、住民の皆さんに健康で長生きしてもらうための様々な予防事業や消防団関連の予算が増えています。

○ 漁業経営支援

水産業の経営安定化と漁獲量の増大を図るため、燃料費の支援を行います。

○ 長寿命化計画調査

以前は国も都も財政が豊かで、新規施設を作る補助金がたくさん出ました。しかし、現在は建物を補修しながら長く有効的に使う方針が変わってきました。まず建物の状態を詳しく調べる費用が予算化され、今後

その結果に基づき補修や再建が行われます。

○ 公衆トイレの新設

公衆トイレの整備として、洋式化やバリアフリー化が進められて来ましたが、住民の要望の多い富士中下と底土の二か所に新設します。

○ 発砲スチロールリサイクル再開

新しい方法のリサイクル機械を購入し、秋から発砲スチロールのリサイクルを再開します。

補正予算審議では、人材育成や事業活性化の事業費が縮小したことが話題になり、町はもっとPRやサポートをして、予算を有効活用して欲しいとの意見が出ました。ふるさと村の再建は、都の調査で土砂災害の危険が指摘され、擁壁工事をして同じ場所に再建するのか、他の場所を考えるのか議員の中でも様々な意見がありました。今後の調査を待つて審議していくことになりました。昨年から何度も審議していた公民館や保健センターの使用有料化は条例が整い、実施されることが決まりました。

（文責・沖山恵子）

主な議決事項

3月定例会 平成31年3月1・18・19・28日 開催

- ◎ 平成31年度八丈町一般会計予算 ほか当初予算7件
- ◎ 平成30年度八丈町一般会計補正予算 ほか補正予算13件
- ◎ 議会の議決すべき事件を定める条例 ほか条例制定・改正9件
- ◎ 八丈町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について ほか同意1件
- ◎ 今崎越富士山2号線道路改良工事請負契約の変更 ほか契約2件
- ◎ 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- ◎ 議員の派遣承認について（フリージアまつり表敬訪問） ほか派遣承認4件
- ◎ 八丈町辺地総合整備計画の策定について

主な会議事項

議会運営委員会 平成31年2月22日 開催

- ◎ 平成31年 第一回八丈町議会定例会について

一般質問

3月18日
質問者7人

3月定例会では、町政全般へ7人の議員が13項目にわたる一般質問を行いました。掲載した原稿については質問議員が作成しています。なお、紙面の都合上、質問内容、回答ともに、要約したものとなっておりますので、ご了承ください。質問の録画映像はインターネットでもご覧いただけます。

<http://www.town.hachijo.tokyo.jp/kakuka/gikai/movie/movie304.html>

氏名	質問項目
山本忠志	児童虐待の根絶を 八丈町基本構想策定のベースにSDGsを 教育改革への町の対応は
宮崎陽子	東京都で【防災・災害】対策を実践しているICT最新事例から八丈町が取り組む今後の具体的な方針と緊急時における非常用電源確保について
浅沼隆章	水道事業について
沖山恵子	土砂災害のハザードマップの公表はいつか クジラの観光利用はできないか いじめ対策はどのようになっているか
山下巧	伐採木、廃材の処理とリサイクルについて 坂下地区に温泉を
山下則子	「八丈島アイきっぷ」制度の充実を 若者の奨学金返済への支援を
岩崎由美	外来種の抜本的な対策を



山本忠志議員

所要時間 35分

児童虐待の根絶を

本年1月、「お父さんに暴力を受けています。先生どうかして下さい」とSOSを発したにもかかわらず、その願いは届かず、10歳の少女が命を落としてしまった。

現在、我が国では、児童虐待根絶のために民法や児童福祉法等の改正に取り組んでおり、都でも虐待防止条例の制定が検討されている。

八丈町でも児童虐待を根絶すべく、以下の2点を問う。

問 八丈町の児童虐待に関する相談窓口と相談件数は。

答 福祉健康課主幹 相談窓口は、島内では子ども家庭支援センター(2-4300)。通告は全国共通ダイヤル(189)もある。生命に危険があるなど緊急時には(110)番通報していただきたい。

平成29年度の相談件数(ケース)は20件あり、訪問、面接等で合計1,170回対応した。

問 町では、現在、児童虐待防止対策としてどのような取組みを行っているか。

〔答〕ハンドブックの作成や11月の児童虐待防止推進月間に合わせた周知・啓発の他、関係機関との連携・情報共有がある。また、内外の研修等により職員の専門性を向上させ、虐待未然防止に努めるべく、家庭に寄り添った支援に取り組んでいる。

八丈町基本構想策定のベースにSDGsを

〔問〕SDGsを町の基本構想のベースに据えることについて、企画財政課長の所見を伺う。

〔答〕企画財政課長 次期基本構想には、SDGsの視点を取り入れることで持続可能な地域社会の実現を目指し、「八丈町にとってのSDGs」という視点で、町民の皆様や民間の方の参画を得て、目標を設定した上で実施したい。そのために、SDGsについての理解促進に努めたい。

教育改革への町の対応は

〔問〕今、我が国では、戦後始まって以来と言われる大きな教育改革が進行している。

これからの学校教育は、「主体的・対話的で深い学び」いわゆるアクティブラーニングが中心となり、学習形態も「知識の習得」から「知識の活用」へと様変わりし、学力観そのものが一新されることとなる。今回の教育改革に対し、八丈町の教育をどのように進めるのか、教育長のご決意のほどを伺う。

〔答〕教育長 自己肯定感の低さと家庭学習の不足が八丈町の子どもの大きな課題であり、これらの解決が急務である。今回の教育改革に合わせて「主体的・対話的で深い学び」を軸に据え、自ら主体的に自己の生き方を考える力を育成するために、学校の支援に努めていきたい。

そのために、指導力の高い教員の確保、ICT環境の整備、特別教室や体育館の冷房化を進め、町の基本構想に沿って、教育の充実・発展に取り組む。



宮崎陽子議員

所要時間 15分

東京都で「防災・災害」対策を実践しているICT最新事情から八丈町が取り組む今後の具体的な方針と緊急時における非常用電源確保について

前回は「行政のデジタル化により、経費削減と合理化が問われる八丈町の基本構想と基本計画について」一般質問を行ったが、今回は「防災・災害対策」について質問する。

〔問〕平成31年度予算、各省庁の離島関係予算対象となっている「八丈島、三宅島、御蔵島、青ヶ島」は、離島活性化特定有人国境離島漁村支援と併せて、離島活性化における「現行制度」では安全・安心向上事業として「防災機能強化」と「計画策定」、そして避難施設の整備や地域防災計画で、大島では旅客ターミナルに1,600人が津波から避難出来るスペースが屋上に設けられ、今後は大島「以外の島」でも津波避難施設の建設を進めていくという方針が東京都知事より発表されたが、八丈町の住民に寄り添った災害対策について見解を問う。

〔答〕総務課長 これからの八丈町で防災に必要な事は「自分の身は自分で守る」自助の徹底が重要であり、住民の方々と様々な防災訓練等を通じた日頃からの普及啓蒙が大切だと思っている。

土砂災害指定区域の対策をはじめ、八丈富士の噴火を想定した避難計画、南海トラフにおける非常事態時の対応、災害時要援護者の方々の名簿制度の向上等取り組みを行なっていきたいと考えている。

〔問〕本年度、東京都庁第一本庁舎大会議場で行われた「防災に関する会合」に出席し、有識者の方々による様々なアドバイスの中で防

災対策は「知識と意識」の向上が重要であり、正しい最新情報を得て、命を守る行動が必要との指摘があった。

前回、私がICTについて一般質問を行ったが今回の防災対策においてもICTの活用が求められている。東京都が推進する「防災アプリ」は、防災についての基礎知識と災害時に役立つコンテンツが充実。実際に「知る、備える、役立つ」という三原則を実感していただけの上に、コストのかからない対策であり「東京都公式防災アプリ」として高く評価されている。

このように、文明の利器を有効活用していく為にも重要な事は、第一にライフラインである。昨年度、北海道の大地震により大規模な停電（ブラックアウト）が日本で初めて起きたことで、改めて全国で危機管理能力が問われる事態になっている。

緊急時に、どれだけの「非常用電源」が確保できるのか、それによって命を守る上でのPDCAサイクルの構築も必要である。

人の生死を分けるタイムリミットは72時間といわれているが、八丈町では、緊急時における「非常用電源」の確保は現在どのようになっているのか。八丈島は、再生可能エネルギーの宝庫でもあるが、災害時での活用を併せたビジョンと蓄電の活用も視野に入れた今後の方針について具体的な見解を問う。

☐ 八丈島における非常用電源について八丈町新庁舎には、72時間の非常用電源確保と、町立八丈病院では200時間以上の非常用電源の設備がある。

今後の地熱発電事業において地域還元策という事で公共施設へ蓄電システムと防災の観点から、新たな取り組みも検討していく方針である。



庁舎非常用電源発電機



非常用電源燃料タンク



浅沼隆章 議員

所要時間 9分

水道事業について

耐用年数を超えて老朽化した水道管の整備などに多額の費用が掛かることなどの要因や、人口減少で料金収入が減り経営環境が悪化している自治体が、給水人口1万人未満の事業者ではおよそ半分が赤字に陥っている。

水道法が改正され赤字運営の地方自治体が運営権の売却のみを行うコンセッション方式を導入しやすくなり、民間に水道事業を委託できる法案が、昨年12月6日に衆院本会議で可決された。コンセッション方式は改正前でも可能だったが、自治体が認可を返上しなければならぬ為、導入の実績はなかった。

八丈町では民間業者が八丈島の水道事業に参入してくる可能性が低いと発言されており、水道事業者から話しがあつた際に、業者選定は難しいが検討すると答弁されていた。

この状況を踏まえて質問させていただく。

☐ 水道管の耐震化は全島の26%程度完了となっていると聞いているが、耐用年数を超えて老朽化した水道管と、3年以内に耐用年数が超えてしまう水道管を合わせて、2月末現在何キロあり、その整備費用はどの位かかるか。

☐ 企業課長 現在、八丈町には水源から浄水施設への導水管、浄水施設から配水施設への送水管、配水施設から給水装置までの配水管を合わせて234kmの水道管が設置されている。そのうち、2月末現在の法定耐用年数が超えている管と、3年後までに耐用年数を超える管と合わせて、全体の32.1%の75kmになる。その整備費用は概算数値で61億円程度。

☐ 多額の費用がかかり、その設備費用も水道事業で運営していかないといけないことが良く分かった。不採算地域の民間参入に期待

が持てない状況が続くと予想されているのであれば、現状の水道料金のまま、その費用は今後八丈町が負担し続けられるのか。水道事業が破綻し負担できないため、急に水道料金が上がる可能性がないか再質問させていただく。

答 水道事業は、厳しい状況が続いているが、水道法改正の中には、水道の広域化の推進も入っている。これにより、都道府県は平成34年までに、広域化のプランを策定することになっているが、どのような形になるかは、まだ不透明である。また、料金については、赤字を解消するだけでなく、水道施設の更新費用を見込んだものと考えていかなければならない。このような中で、直ちに料金改定するのは、現実的でないと思われるので、その間は、島全体で負担していかなければならないと考えている。



沖山 恵子 議員

所要時間 28分

土砂災害のハザードマップの公表はいつか

東京都から土砂災害の危険個所が示されたが、危険個所が多くハザードマップの作成には時間がかかると思うがいつになるか。坂上では公民館が危険個所に含まれ他地区に避難するのが大変だったが、今後は限定的に地元公民館の二階に避難できると聞いた。マップの公表を待っていては時間がかかる。早めに地元避難のルールを示して欲しい。

問 ハザードマップの公表はいつか。

答 総務課長 10月5日の予定。

問 雨天時に地元の公民館を避難場所に指定するルールはいつ発表されるか。

答 状況によるので、その都度対応する。

問 危険個所が多く、非難時には多くのそういった場所を通り避難しなければならないと思う。安全な避難経路も合わせて示し、説明会も行なって欲しい。

答 検討する。

クジラの観光利用はできないか

町が予算化し生態調査に協力しているザトウクジラは陸上からよく見え話題になる。しかし



クジラがデザインされた町営バス

調査ばかりで観光活用が進んでいない。何のために大金を投入するのかという声を聞く。3年間調査し、島周辺にクジラが来遊している事は確認できた。陸から見るのは容易だが、海に出たのウォッチングはハードルが高いと思うがどのような活用を考えているか。

また、町はクジラの見撃情報をツイッターで集めて集計している。見えたら町に報告すれば、「探す・見つける・報告する」という3つの体験ができ、結果は統計の数字として残り、生涯この一頭は自分が発見したと思いつに残るストーリーができる。見つけやすくするため、景勝地に双眼鏡の設置は出来ないか。

問 町はクジラをどのように観光活用する予定か。

答 総務課長 クジラウォッチングは観光に有効で、先日ドイツからの取材もあった。陸から見る観光を推進したい。見る場所とポイントのリーフレットを作成する。

問 景勝地に双眼鏡の導入は出来ないか。

答 メンテナンスが大変。観光協会に貸出用の双眼鏡があり、それを利用して欲しい。

問 わざわざ借りに行くのは大変なので、温泉等に貸出用を常備して欲しい。

答 検討する。

いじめ対策はどのようになっているか

問 いじめが原因で転校した子供がいたと聞いた。いじめる側の対策が無いといじめはなくならない。どのような対策をしているか。また、SNS等インターネットを使ったいじめの対策はどうなっているか。

答 教育課長 年3回アンケートを実施、日常的に教員に話しやすい環境の整備をし、早期発見に努めている。いじめている子には絶対にしてはいけないと指導、いじめ対策委員会を開き、保護者にも連絡、教育委員会と協力して対応している。SNSは八丈ルールを制定、家庭でも健全な使い方を指導するよう協力を求めている。また警察協力のもと、セーフティ教室を実施するなど被害者・加害者両方になりえる事を伝え、使い方を指導している。



山下 巧 議員

所要時間 18分

伐採木、廃材の処理とリサイクルについて

八丈島の伐採木のゴミとリサイクルについて以前から懸案となっているが、クリーンセンター近くにある伐採木仮置き場が未だに閉鎖されたままになっている。坂下の住民は中之郷埋め立て処分場まで運搬しなければならず、大量に庭や畑から出る伐採木はそのまま積み上げておくとヤスデや蟻の大量発生の原因となってしまう。また、家庭で焼却すると野焼禁止違反となり家庭ゴミの日に出すと老朽化したクリーンセンターの焼却炉の負荷燃焼

コストが大きくなり好ましくない。八丈町は観光収入に期待し、住民はキレイな街づくりを心掛けなければならないが、肝心の処分する場所が身近にないために多くの費用と労力や時間を費やしている。

問 伐採木置き場再開の見通しはどのようになっているか。

答 住民課長 伐採木置き場は6月をめどに再開をしたいと考えている。八形山リサイクルヤードに管理人が常駐し、坂下地区の一般家庭より出される伐採木の受け入れを、期日限定で再開する。リサイクルのため指定した分別をお願いしたい。

問 三根、大賀郷地区に伐採木を埋め立てる場所はないか。

答 住民課長 坂下に伐採木処分場を新設するには国の厳しい設置基準があり、坂下地区の住民の皆さんにはリサイクルヤードを適正に利用していただきたい。

問 建築廃材、家財のリサイクルについてどのように考えるか。

答 家の取り壊しで発生する産業廃棄物は委託業者により島外へ搬出し、固形燃料等に再利用されている。一般廃棄物については粗大ごみの有料化も検討していきたい。

問 島内で大型家具を扱う店が少なく東京からの運賃も高く好みの家具を選べない、国（都内）との格差を少なくするために国境離島の助成金などが投入出来る様に取り組んでいただきたい。

社協の家具類のバザーは中止されると聞くと、島内で再利用を希望する方も多い。継続支援は出来ないか。

答 福祉健康課主幹 社協によれば、家具類のバザーは平成31年度は人員配置の問題があり休止するが再開をしたいとのことであった。

坂下地区に温泉を

問 最も多くの住民が居住し、観光客が滞在する坂下地区に温泉がないホテル民宿に温泉を引くことは出来ないか。観光客のおもてなしに「温泉の島」を売りにしている以上、宿泊客の多い坂下地区に温泉が提供できれば、将来にわたり島の観光は大きな恩恵を受け、また定住者も増えると考えられるが、町の考えを尋ねる。

坂下で温泉を利用するためにたとえば温泉スタンドの設置はどうか。それらが無理なら箱根などで行っているタンクローリー車での家庭への温泉宅配は可能か。温泉まで行けない高齢者宅、疾患があり感染症など衛生に注意するお宅、デイサービス福祉施設、観光宿泊施設、月に数回自宅宅配温泉を楽しめる島を目指すことが重要と考える。まずは坂下にお湯が出るのか源泉の調査と、過去の調査資料、地熱発電の業者の協力を得て10年20年先を見据えた計画を立てるべきであるがいかか。

答 福祉課長 タンクローリー車による温泉の輸送も含め、坂下に温泉の必要性については将来を見据え検討していきたい。



山下 則子 議員

所要時間 9分

「八丈島アイきっぷ」制度の充実を

問 八丈町では、平成29年9月1日より、有人国境離島法に基づき航空運賃島民割引制度が始まり、通常片道2万円程度かかる航空運賃

が13,790円へと利用しやすくなり、さらに昨年10月より「東京愛らんどシャトル」の低廉化にも繋がり、伊豆諸島の交通事情は大きく改善された。

更なる制度の充実のため、島外で学ぶ八丈島出身の高校生や大学生に対しても、この制度の幅を拡大してほしい。

この件は、平成30年第4回定例会において他議員が質問した折り町の回答は「準島民制度が活用できないか検討している」だった。その後の進捗状況は。

答 企画財政課長 島外在住学生は、原則対象外となっているが、八丈町の給付型奨学金を受けている者について、国に打診したが合意に至らず、島外の高校生については今後皆様の意見を伺いながら検討する。

一方、離島留学生の保護者・兄弟姉妹については、国から適用の承認を頂いている。



若者の奨学金返済への支援を

問 色々な奨学金を借りた人の多くが卒業後の返済に負担感を感じているとの報道があった。自治体によっては人口減少防止施策の一つとして、その自治体に就職する人の奨学金の一部または全部を肩代わりしているところもある。

前回の定例会で八丈町の給付型奨学金の利用者が少ない理由を私が尋ねた際、町の回答は「八丈島に希望する職種がない」「島に戻るタイミングを特定できない」等だった。

例えば、条件付きで八丈島内に就職した人の奨学金の返済分の一部を町が負担する制度を作ってはどうか。そうすれば、人口減少や高齢化の課題解決にも繋がるのではないか。

答 教育課長 島外からの移住者で、町以外の奨学金を受けた人への返済を支援するの

は、町の奨学金条例設置目的の根幹から外れる事になる。

ご提案の事業を進める事は難しい。

町教育委員会は、本来の目的を充足することを目的として事業を展開しているので、ご理解をお願いします。



岩崎由美 議員

所要時間 17分

外来種の抜本的な対策を

数年前のとあるイベントで八丈島の魅力を問われた時、町長は「島の自然」とお答えになり、とても心強く感じた。八丈島の自然は、世界広しといえども、ここにしかない。一方、島の希少種の中で激減しているものがあるが、その原因のひとつは外来種ではないかと考えられている。またヤンバルトサカヤステやアズマヒキガエル、アシジロヒラフシアリなどの外来種が様々な問題を引き起こしている。

問 八丈島の自然の重要性および外来生物の問題点についてどのようにお考えか、町長に伺いたい。

答 町長 八丈島のいい所を訪ねられた際には、「自然からの恵みだ」といつも答えている。産業の根幹が自然からの恵みと考えている。八丈町生物多様性地域連携保全計画というのがあるが、色々な専門家の意見を聞きながら、今後対策を練っていくことが重要。環境負荷という面でも、対応は慎重を期さなければならない。八丈本島の中では、非常に難しい部分がある。伊豆諸島唯一の自然が残されている八丈小島については、近々ノヤギ終息宣言を出そうかと考えているが、今後ルールをきちんと決めて対応していく。専門家の意見を聞きながら

将来に向けて自然を残していけるようにしたい。

問 これまでに問題となった外来種とその対策費の推移、効果は。

答 住民課長 昭和30年代以降で把握しているものは、昆虫で20種、哺乳類で5種、鳥類で4種、爬虫類で4種、両生類で3種。対策費の実績は、ヤンバルトサカヤステが過去10年間で59,897,000円、アズマヒキガエルは平成25年度から2,843,000円という決算額になっている。効果については全体の個体数の比較は物理的に難しいが、調査報告書によれば、発生の抑制効果はあると認識している。

問 今後も、現在実施している対策方法を続けていくか。

答 ヤンバルトサカヤステやアズマヒキガエルは徹底した排除が望ましいが、繁殖力が非常に強いことから排除は困難。しかしながら、生態調査による八丈町生物多様性地域連携保全計画の基本方針に基づいて、現在駆除などの対策を実施。発生の状況にもよるが、環境への負荷について配慮をしながら進め、個体管理はしていかなければならないと考えている。

問 人為的な放逐がよくない事は徹底的に周知させる必要がある。今後、外来種が移入するたびに、対処療法をしていく事は島の自然にとって必ずしもよいことではない。やはり抜本的な対策が必要だと思われる。（外来種などが付いたものを）島へ出入りをする際に、燻蒸等で処理することによって、リスクが下がるのではと考えられる。入ってから駆除をするのではなく、入らないようにするという抜本的な対策は可能か。

答 流通の中での水際対策ということだが、八丈島の産業も産業が盛んな島ということで、様々な面での協力を仰がないといけない。関係団体と調整、協議等が必要だと思われるので、慎重に検討していく必要がある。

質疑より

3月定例会では平成30年度補正予算、平成31年度予算の説明が行われ、質疑が行われました。主な内容を抜粋、要約して掲載します

◎ 水道配管の追加工事分の支払いはされているのか



廣江 才 議員 現地調査が不十分なのかどうかは分からないが、既設管の取出し部位が施工図とかなり違っている場合がある。変更による部材を含め、追加工事は

容易には認められないと聞き及んでいるが、課長はその辺りの認識をどう捉えているのか。

企業課長 確かに当初こちらが発注した設計書と実際掘った場合、違うことはかなりある。そうした場合は、適正に契約変更を行い処理しているという認識である。

◎ 消防団員の現状は



菊池 良 議員 人口も減ってきて、団員になる方が少なくなってきたのではないかとと思うが、状況は。

消防長 現在、消防団員数は約240名。新入団員も入っては来ているが、確かに少しずつ減っている。今、普通消防団員と機能別消防団員という2つの機能があるが、55歳の定年を過ぎても、今度は機能別という形で、例えば火災だけ、あるいは夜だけは活動できるなど、そういった方も消防団として残ってもらうような制度を作って、それでなんとか極端に減ることを回避している。

菊池 良 議員 島民にとっては消防団員というのは非常にありがたい存在なので、融通を聞かせて、55歳以下でも機能別に所属できるなどできるだけ確保していただきたいが、いかがか。

消防長 若い方には普通消防団員として活動していただきたいので、55歳で退団される方が機能別に残るという形でしっかりと区切りをつけている。

◎ 小学校以外の飛散防止フィルムは



浅沼憲春 副議長 飛散防止フィルムについて、病院、コミュニティセンター、町役場庁舎への対応は。

教育課長 コミュニティセンターは、今のところ考えていない。しかし、コミュニティセンター内図書館のこどもの本の部屋には飛散防止のフィルムを貼り、遮光と併せて対応している。

病院事務長 病院のサッシに関しては、強風に耐えられる強化ガラスを使っている。強い台風の場合には、万が一ひびが入っても飛び散らないような対応をしている。

建設課長 町役場庁舎は大丈夫なようになっている。

◎ ふるさと村の再建場所は

岩崎由美 議員 元ふるさと村背後の崖が土砂災害指定危険地域に指定された。ふるさと村の再建場所は歴史的観点から、元の場所が最適と思うが、今後の予定は。また決定に際しては、多方面の意見を聞くべきでは。

産業観光課主幹 擁壁については、相当の金額がかかると思われる。まず現況を把握してから議員、歴史民俗資料館検討委員会等関係者の方ともご相談したい。



移住者インタビュー その2

樫立在住 M.Sさん(80代) R.Sさん(70代)
御夫妻にインタビュー 2019/04/11

Q 八丈島に移住されて何年ですか？

M.S もうすぐ丸3年です。当初は、三根に2年余住みました。樫立に引っ越して数ヶ月です。

Q どのようなきっかけで 八丈島へ？

R.S 一番最初に来たのは、昭和50年頃だったかな～？家族旅行で来たんです。その後も何回か来て、友人も出来ました。移住しようと決めたきっかけは、主人の仕事のリタイアです。私は都会がよかったんですけど…(笑)

M.S 僕は都会の中で暮らしてきたので、自然の中で生を全うしたい！と思うようになって、何度も訪れたことのある八丈島が思い浮かびました。



Q 今は、どのような生活ですか？

M.S 僕は、釣り三昧ですね。三根の時は神湊で いまは藍ヶ江に通っています。

R.S 私は、毎日温泉三昧！ 移住した当初から自宅の風呂にはほとんど入らずで… そのおかげで膝痛が無くなりました。それに八丈島では、70歳からは温泉も割引になるのでお得ですよ～。

Q 今 困っていることは？

M.S やっぱガソリン代が高いこと！ 東京に比べて

40～50円高いんじゃないかな？ガソリンスタンドの各店舗に、「今日は1L〇〇円です」と表示してほしい。どの店が安いかわからないから…。八丈ってどの店もガソリン代が同じなの？東京だと各店舗が競争だから、閉店するスタンドもあるんだよ。八丈では何か協定でもしてるのかな？有人国境離島法で都会並みのガソリン代にしてほしいね。

Q 最後に八丈島の良いところは？

R.S 皆さんが本当に優しい！！それから、移住当初はお店に貼ってある案内を見て、おじゃれホール等のイベントに出かけました。八丈って文化的なことが進んでいるなあと思います。

取材者 山下則子

大賀郷在住 M.Sさん(女性)

東京にいた頃、田舎は余所者に厳しいとか不便という先入観で田舎で暮らす気は全くありませんでした。

でも旅行に来たら八丈は皆さんすごく親切でお店も複数あり高くなく。なにより東京にすぐ行ける安心感。住みたい！と思いました。

なのに「八丈なんか見るとこないでしょう？」なんて言われ驚きました。ただ自然を眺めてのんびりする時間



や、温泉で知らない人と何気なくおしゃべりしたりする温かい日常こそ東京にない魅力です。

島の人にこそ魅力を知ってもらって、「いいとこよ！」って島に自信を持ってもらう事が観光にも移住者にも何よりのアピールになると思います。

取材者 宮崎陽子



[編集後記]

新元号「令和」になってから、初の議会だより編集後記の担当になりました宮崎陽子です。「初春の善き月、気も清らかで美しく風も和やかで、鏡の前で化粧をするように梅が咲く様子」を和歌に込めた日本最古の「万葉集」梅花歌三十二首の序文から「令和」が典拠されたそうですが、日本人の心を感じさせるとても美

しい響きですね。梅の花が開花する時期は、まだ冬のような冷たい風が吹いている中で花の見頃を迎えます。寒さの中でも、穏やかに咲き誇り、いち早く春の訪れを告げる花のように、これからの時代、私達も強く逞しく、誰もが笑顔でいられる穏やかな八丈島でありますように、心から願っています。 宮崎陽子

発行人 八丈町議会議長 奥山 幸子

編集 議会だより編集委員会 委員長 岩崎由美 委員 宮崎陽子 山下則子 沖山恵子

〒100-1498 東京都八丈島八丈町大賀郷 2551-2

tel 04996-2-2788 fax 04996-2-4437 メール gikai@town.hachijo.tokyo.jp

